

## 実例レントゲン写真から学ぶ! 誤飲は身近な物こそ要注意!

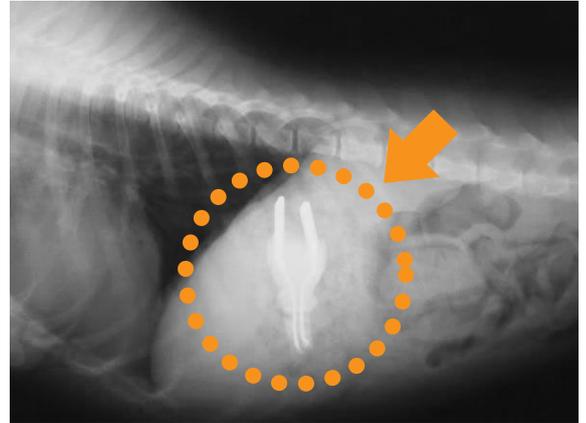
「まさか、こんなものまで?」と思わず目を疑いたくなるようなレントゲン写真。これらは、すべて写真提供をいただいた動物病院様でのどうぶつさんの誤飲の実例です。どうぶつさんは、遊んでいるうちにうっかり誤飲をしてしまうことが多くあります。どうぶつさんの目線で、今一度お家の中を見直し、誤飲を予防する環境をつくっていきましょう!

### Case1: コンセントの誤飲



●品種/性別	フレンチブルドッグ/男の子
●誤飲時の年齢	5ヶ月齢
●処置	開腹手術
●診療費総額(手術代含む)	15万円~20万円未満

●詳細  
留守番中にコードで遊んでいるうちに、噛み切ってしまいコンセント部分を誤飲してしまいました。催吐処置では食道を傷つけたりコンセントで食道が閉塞したりする可能性があったため、緊急開腹手術を行い、無事にコンセントを取り出しました。



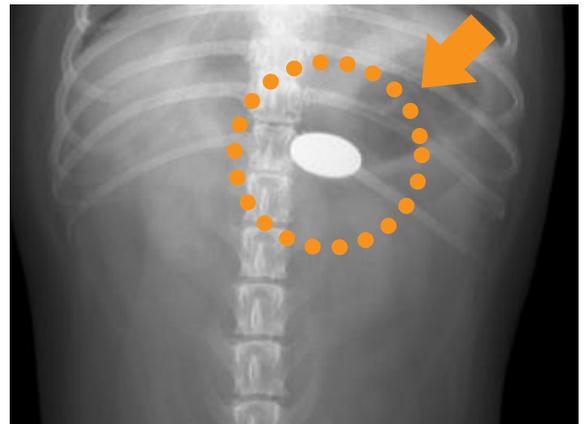
写真提供: 弊社対応医療機関

### Case2: コインの誤飲



●品種/性別	フレンチブルドッグ/男の子
●誤飲時の年齢	3歳
●処置	内視鏡
●診療費総額	5万円~10万円未満

●詳細  
頻繁に嘔吐の症状があり、通院されました。レントゲン写真にてコインの誤飲と判断され、全身麻酔下での内視鏡処置となりましたが、無事にコインを取り出しました。



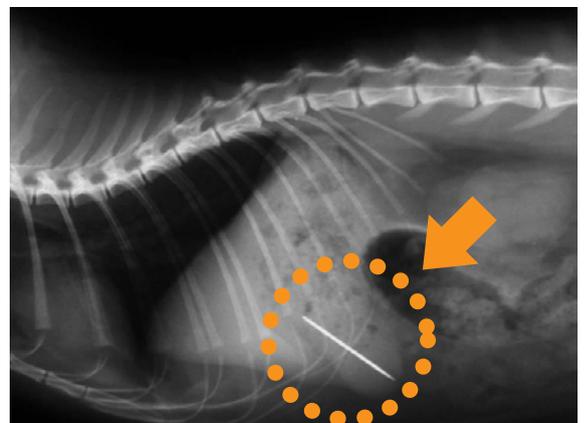
写真提供: 福岡県・高橋ペットクリニック 高橋雅弘院長

### Case3: 縫い針の誤飲



●品種/性別	混血猫/男の子
●誤飲時の年齢	1歳
●処置	催吐
●診療費総額	1万円~3万円未満

●詳細  
飼い主さんが目を離した際に、縫い針を誤飲してしまったため、心配になって通院されました。レントゲン写真で縫い針を確認できたため、催吐処置を行ったところ、処置後5分以内にご飯と一緒に無事に縫い針を吐き出しました。



写真提供: 京都府・西京極どうぶつ病院 山田昭彦院長



催吐処置でうまく吐き出せなかったり、催吐時に食道で引っかかる可能性がある場合、全身麻酔下にて内視鏡処置が必要になる可能性があります。内視鏡による処置には全身麻酔が必要で、費用もリスクも高くなります。

(京都府・西京極どうぶつ病院 山田昭彦先生)

どうぶつさんの事故予防のために、飼い主さんにできることを考えてみましょう！

# 誤飲事故を防ぐ環境整備 ～ワンちゃん編～

## アニコム損保のドッグライフカウンセラーに聞いてみました！

誤飲事故は飼い主さんが目を離した際に起きてしまうことが多いため、目を離すときには、どうぶつさんを安全な場所で過ごさせてあげる必要があります。日頃から、「落ち着く場所、自分の居場所」をつくってあげることで、誤飲を予防できる環境整備を行っていきましょう！



**Q.** ワンちゃんが落ち着ける場所とはどんなところでしょうか？

**A.** ワンちゃんはもともと穴倉で生活していたといわれており、「自分からは周囲が見渡せるけれど、周囲からは自分が見えないところ」に安心感を覚えるようです。私たちの感覚では「狭いところはかわいそうだ」と思ってしまいがちですが、実は、ワンちゃんが落ち着けるお気に入りの場所になりやすいので、安心してください。例えば、クレートやバリケンネルなどがおすすめです。



▲クレートはワンちゃんが落ち着くことができるのでおすすめです。

**Q.** クレートやバリケンネルをお気に入りの場所にするには、他にもメリットがありますか？

**A.** 誤飲予防だけでなく、大きな災害があったときに大切な命を守ってくれることになるかもしれません。また、予期せぬ出来事があったり預けなくてはいけないときも、ワンちゃんに余計なストレスを与えずに済みます。お気に入りの場所があることはワンちゃんの縄張りの範囲を狭めることになりしますので、是非トライしてみてください。

**Q.** クレートの中に入ってくれないのですが、どうしたらいいのでしょうか？

**A.** クレートを好きな場所にするには、ワンちゃんのお気に入りの毛布やおもちゃを入れておいたり、中に入ったらご褒美をもらえた、優しく声をかけてもらったなど、嬉しい経験をさせてあげましょう。良いイメージ付けをしてあげることが大切です。反対に、お仕置きのための場所にならないように注意しましょう。留守番のときなど、目が届かないときのワンちゃんの安全を守るためには、右の写真のようにケージやサークルの中に置くこともおすすめです。



▲クレートの置き方の例  
ケージの中におくこともおすすめです。

## 春は、お花見での誤飲に注意しましょう！

ワンちゃんと一緒にお花見にでかける時は、外に落ちていた物を食べてしまう危険があります。必ずリードを付けておき、目を離さない等十分に注意しましょう。



### ■ お花見で気をつけてほしいもの

アルコール		お花見にアルコールはつきものですが、ワンちゃんたちがアルコールを摂取すると命にかかわることもありますので、たいへん危険です。飲み残しは、すぐに捨てるなど気をつけましょう。
タコ糸		焼き豚やハムを縛ったタコ糸やヒモも美味しい匂いや味が残っていますが、口に入れたらたいへん危険です。食べ終わったら、出したままにしないよう気をつけましょう。
たばこ		たばこに含まれるニコチンはワンちゃんが摂取すると中毒症状を起こします。多量に摂取すると、震えやけいれんを起こして起立不能になり、昏睡に陥って亡くなる場合もあります。取扱いには十分に注意しましょう。

# 誤飲事故経験記

アニコム損保のペットショップ代理店で、実際にどうぶつさんの誤飲を経験している方にインタビューを行いました。誤飲したものの、予防策等について詳しくご紹介します。

Case 1

## 梅干しの種の誤飲

- 誤飲した場所 お家の中（リビング）
- 誤飲時の年齢 3歳
- 経緯

フタの無いゴミ箱の中にあった梅干しの種を、飼い主さんの目の前で誤飲してしまいました。直後は元気だったため、しばらく様子を見ましたが、約2週間経過後、急に嘔吐を繰り返すようになったため、病院へ連れて行きました。日帰り入院をして経過観察となり、数日後、便と一緒に梅干しの種が出てきたことが確認されました。

りらちゃん  
6歳/女の子/  
ミニチュア・ダックスフンド  
性格：食いしん坊



完治までの通院・入院回数

手術の有無 / 異物摘出方法

診療費総額 (手術有りの場合、手術費含む)

通院3回・日帰り入院1回

無し / 排便

約5万円



- 予防への取り組み 飼い主：某ペットショップスタッフ店長 K様：  
ゴミ箱は常に、りらちゃんの手が届かないところに置くようにしました。また留守番の時は、誤飲しそうなのが周囲にないか必ず確認するよう気をつけています。

アニコムからの  
ワンポイントアドバイス

梅干しの種などは、消化されずに胃の中にとどまり、後日症状が出てしまうことがありますので、注意しましょう。

Case 2

## ビニール紐の誤飲

- 誤飲した場所 お家の中（リビング）
- 誤飲時の年齢 7歳
- 経緯

飼い主さんが帰宅すると、マリーちゃんの口の中からビニールの紐が出ている姿を発見！びっくりした飼い主さんは、口から紐を引っ張ってみましたが、出てくる気配が無かったため、すぐに病院へ連れて行きました。ビニール紐はレントゲン写真に写らないため、緊急開腹手術となりました。

マリーちゃん  
8歳/女の子/  
チンチラゴールデン  
性格：おっとり



完治までの通院・入院回数

手術の有無 / 異物摘出方法

診療費総額 (手術有りの場合、手術費含む)

入院1週間

有り / 開腹手術

30万円以上～50万円未満



- 予防への取り組み 飼い主：某ペットショップスタッフ I様：  
誤飲しやすいものを高いところに置いて、ネコちゃんは登って取りに行くことができるため、必ず棚の中にしまっておくことを徹底しています。自分の不注意でマリーちゃんに痛くて苦しい思いをさせたので、他の飼い主さんには同じような思いをしていただきたくありません。ぜひ気をつけてあげてください！

アニコムからの  
ワンポイントアドバイス

誤飲した紐を無理に引っ張ると、消化管粘膜などを傷つけることになり危険です。口や肛門から糸や紐が出ていても、絶対に引っ張らないようにしましょう！

# どうぶつさんが食べてはいけないもののリスト

## たまねぎ・ねぎ・にら・にんにく類



感受性に個体差がありますが、アリルプロピルジスルフィドという成分によって赤血球が壊されるため、貧血を起こすことがあります。直接食べるだけでなく、煮汁も中毒を起こします。

## マカダミアナッツ



多量摂取により、運動失調や後肢の麻痺を起こすことがあります。

## チョコレート



チョコレートに含まれるテオブロミンは、心臓・中枢神経系を刺激し、場合によっては死に至ることもあります。例えば体重10Kgのワンちゃんが約100gのチョコレートを摂取した場合でも、これらの症状が現れる恐れがあります。ちなみに一般的な板チョコは1枚約70gですので、小さいワンちゃんの場合はひとかけらでも注意が必要です。

## カフェイン(コーヒー、紅茶、日本茶など)



カフェインはチョコレート等に含まれるテオブロミンと同様に、心臓・中枢神経系を刺激します。症状としては、頻脈、不整脈、興奮、全身性のうっ血や出血がおきることがあります。



## キシリトール



キシリトールの代謝や感受性は、人とワンちゃんとは大きく異なります。キシリトールの摂取により、血糖を下げるホルモンであるインスリンが分泌されるので、低血糖症を起こしたり、肝臓に障害がおきる可能性があります。

## レーズン・ブドウ



ワンちゃんに有害である事が立証されており、重度の場合、腎不全から死亡する例も報告されています。ネコちゃんについては、まだよく分かっていないようです。

## 人用のサプリメント



成分によってはどうぶつさんに毒性を示し、命に関わることもあります。例えばαリポ酸(チオクト酸)には強い抗酸化作用があり、人用サプリメントに使われていますが、どうぶつさんには強力な肝毒性を示し、少量でも中毒をおこすことがあります。



鳥さん・うさぎさん・フェレットさんは、こんなものにも注意！

## 鳥や魚の骨



先がとがっている骨は口の中や食道・胃腸を傷つける恐れがあり危険です。飼い主様の食べ残し、道に落ちている鳥の骨等も注意しましょう。

## アボカド



アボカドに含まれるペルジンの多量摂取により、胃腸炎を起こす恐れがあります。鳥さん・うさぎさん・フェレットさん等の小動物にとっては、少量でも危険です。

「どうぶつ相談室サイト」では、どうぶつさんのしつけやお手入れ、健康管理をもっと知っていただくための情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

どうぶつ相談室

検索

【発行元】アニコム損害保険株式会社 〒161-8546 東京都新宿区下落合1-5-22 アリミノビル2F  
【お問い合わせ先】

あんしん  
サービスセンター

**0800-888-8256**

携帯電話・PHSからはこちらへ **03-6810-2314**

受付時間:平日 9:30~17:30 土日・祝日 9:30~15:30

※ご利用のIP電話のご契約状況により、左記「0800」の番号にはつながらない場合があります。  
※サービス向上のため、通話内容を録音させていただく場合があります。